

1. 活動の概要

5月28日(木)、浜田市立第四中学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。中学校のある周布川流域の遺跡について話を聞き、加えて奈良時代に設置された石見国府について学習しました。

講座の後は、周布周辺の遺跡から出土した土器、石器などについて実物を見ながら説明を受けました。弥生土器と須恵器の違いは野焼きによって低温で焼くか、登り窯で高温で焼くかによって違いが出ることを聞きました。

2時間目は技術室に移動して、いよいよ「勾玉作り」に取り掛かりました。石材に作りたい勾玉の形を鉛筆で下書きをして目標をつくり、実際に滑石をヤスリで削り始めました。どんどん削って沢山石粉が出ますが、なかなか予定した大きさにまでは達せず苦労しました。古代人はこれよりもずっと堅い石を削り、磨いて勾玉を作っていたことを知って玉作りの大変さを実感しました。

2. 活動の様子

①周布川周辺の遺跡について知る。国府の置かれた奈良時代の浜田について。



「周布川の周辺にはどのような遺跡があるのでしょうか？」



「学校の裏山にあたる道休畑遺跡の出土品です」

②勾玉作り体験



「見本をよく見て、勾玉を作ってください」



「みんな、一生懸命に玉を削ります」

3. 子ども塾を終えて

①生徒さんから…

中学校の近くにも、たくさん遺跡があることを知ってびっくりしました。弥生土器と須恵器は見た目の色あいが違うだけではなくて、重さや手で触った感触がずいぶん違うことがわかりました。

玉作り体験では、滑石はどんどん削ることができましたが、なかなか自分が思うような形に近づきませんでした。時間内に完成することはできませんでしたが、達成感がありました。昔の人はもっと堅い石で勾玉を作っていたと聞いて、昔の人の技術力と根気強さに感心しました。

②担任の先生から…

中学校の傍にある道休畑遺跡や日脚遺跡の土器や石器を手にとって目前で見て、重さや質感を感じることができてよかった。

勾玉作りは、意外と削るのが大変で、目標まで到達した生徒は少なかったが、そのことで玉作りの大変さを実感できたのはよかったと思う。

③古代文化センターから…

浜田の中でも周布周辺の遺跡について、大変興味をもって聞いておられました。

学校の周辺でも道休畑遺跡、日脚遺跡、周布古墳など多くの遺跡があることを知って生徒の皆さんは驚いておられました。

勾玉作りでは、滑石はよく削ることができるものの、自分のイメージした形まで到達できる生徒さんは少なく、玉作りが意外に難しいことを実感されたようです。古代の玉について当時の職人の根気強さや手先の器用さをより一層感じることができました。



「削っても、削っても…。完成への道のりは遠い…。」